



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 TOYOTIRE株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5105 URL <https://www.toyotires.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 隆史  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 延澤 洋志 TEL 072-789-9100  
コーポレート統括部門管掌  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月6日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	265,457	18.7	26,673	2.7	38,761	0.7	29,122	△6.1
2022年12月期第2四半期	223,667	20.0	25,972	△3.7	38,509	31.8	31,030	50.1

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 48,695百万円 (△16.1%) 2022年12月期第2四半期 58,015百万円 (63.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	189.16	—
2022年12月期第2四半期	201.56	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	642,256	361,936	56.3
2022年12月期	598,889	320,915	53.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 361,826百万円 2022年12月期 320,683百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2023年12月期	—	20.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	58.00	78.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	560,000	12.6	60,000	36.2	61,000	19.5	55,000	14.7	357.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 2 Q	154,111,029株	2022年12月期	154,111,029株
② 期末自己株式数	2023年12月期 2 Q	142,165株	2022年12月期	157,970株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 2 Q	153,961,002株	2022年12月期 2 Q	153,946,287株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは異なることがありますことをご承知おきください。業績予想の背景及び前提となる条件等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 当期の経営成績

当第2四半期連結累計期間における経済環境について、米国では、個人消費や労働市場は引き続き増加基調が保たれているものの、複数回の追加利上げが行われる可能性が示唆される等、今後の動向について注意する必要があります。欧州では、深刻な景気後退は見込まれていないものの、インフレ対策として金融引き締めが継続される可能性が高く、景気復調へは不透明感があります。わが国では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が引き下げられたこと、また各種政策の効果もあり景気は緩やかに回復しているものの、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクや物価上昇、金融資本市場の変動等に注意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループは2021年を起点とする5ヵ年の中期計画「中計'21」を策定し、その中で掲げた各種経営指標を実現するため、これまで培ってきた得意分野や独自性、研鑽してきた機能別組織機能、変革・強化を図ってきたガバナンスやコンプライアンス体制をベースに置きながら、取り巻く変化に迅速、かつ柔軟に適應する力を当社グループ全体で強化することに取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は265,457百万円（前年同期比41,790百万円増、18.7%増）、営業利益は26,673百万円（前年同期比701百万円増、2.7%増）、経常利益は38,761百万円（前年同期比251百万円増、0.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29,122百万円（前年同期比1,907百万円減、6.1%減）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

#### ② 事業別の状況

##### (タイヤ事業)

北米市場における市販用タイヤについては、OPEN COUNTRY A/T III（オープンカンントリー・エーティースリー）、NITTO RECON GRAPPLER A/T（ニットー リコングラップラー・エーティー）、OPEN COUNTRY R/T TRAIL（オープンカンントリー・アールティール・トレイル）など当社が強みとしている大口径ライトトラック用タイヤやSUV用タイヤ、更に全天候型タイヤの新商品CELSIUS II（セルシアス・ツー）などの重点商品を中心とした販売に注力したことにより、販売量が前年度を上回りました。また、売上高は値上げや重点商品の拡販による商品ミックスの改善もあり、販売量以上に前年度を大きく上回りました。

欧州市場における市販用タイヤについては、ロシア・ウクライナ情勢に伴うロシアや周辺地域への販売停止の影響を受けたものの、他欧州諸国向けに優先的な供給を行い販売量は前年並みでした。また、売上高は欧州各国での値上げや商品ミックス改善により、販売量以上に前年度を大きく上回りました。

国内市場における市販用タイヤについては、4月からの夏タイヤ値上げ及び7月からの冬タイヤ値上げに対する値上げ前需要の刈り取りにより、販売量は前年度を上回りました。また値上げ効果や、新商品PROXES Sport 2（プロクセス・スポーツ ツー）、PROXES Comfort II s（プロクセス・コンフォート ツーエス）や OPEN COUNTRY（オープンカンントリー）シリーズなど重点商品の拡販を受けて売上高も前年度を上回りました。

新車用タイヤについては、半導体不足が緩和し自動車メーカーの生産が回復基調となり、販売量が前年度を大きく上回りました。また、売上高も原材料市況高騰の一部を価格に反映できたため、前年度を大きく上回りました。

その結果、タイヤ事業の売上高は242,523百万円（前年同期比38,586百万円増、18.9%増）、営業利益は27,400百万円（前年同期比67百万円増、0.2%増）となりました。

##### (自動車部品事業)

自動車部品事業については、半導体不足が緩和し自動車メーカーの生産が回復基調となり、また原材料市況高騰の一部を価格に反映できたため、自動車部品事業の売上高は22,925百万円（前年同期比3,203百万円増、16.2%増）と前年度を大きく上回り、営業損失は728百万円（前年同期は1,354百万円の営業損失）となりました。

#### ③ 当社免震ゴム問題に係る製品補償対策費

2015年12月期において、出荷していた製品の一部が国土交通大臣認定の性能評価基準に適合していない等の事実が判明いたしました。

当第2四半期決算において、製品補償対策費135百万円（主として、免震ゴム対策統括本部人件費等）を特別損失として計上しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は642,256百万円となり、前連結会計年度末に比べ43,366百万円増加しました。これは、主として、受取手形及び売掛金や有形固定資産等が増加したことによります。

また、負債は280,319百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,345百万円増加しました。これは、主として、未払法人税等が増加したことによります。なお、有利子負債は133,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,815百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は361,936万円となり、前連結会計年度末に比べ41,021百万円増加しました。これは、主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金、円安の影響により為替換算調整勘定が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は56.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ① 業績予想の修正について

2023年12月期第2四半期連結累計期間につきましては、原材料価格の高騰及び海上運賃の値上がり等が想定より下回ったこと、為替相場が想定より円安に推移したこと、並びに経費削減の効果も加わり、営業利益及び経常利益については、前回発表時(2023年2月14日)の予想を上回ることとなりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益については、本日公表の「Toyo Automotive Parts (USA), Inc. の解散及び債権放棄のお知らせ」に開示しましたとおり特別損失を計上いたしました。上記の増益要因により前回発表時(2023年2月14日)の予想を上回ることとなりました。通期連結業績予想につきましても、最近の業績動向及び2023年6月29日公表の「投資有価証券の売却についてのお知らせ」を踏まえ、前回発表予想から増収増益で修正しております。

なお、為替レートは、1 USドル=133円、1 ユーロ=144円を想定しております。

## ② 配当予想の修正について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題として捉え、每期安定した配当を実施してまいりました。今後はこの安定配当の考え方を堅持しつつ、財務健全性も維持した上で業績に連動させた形で株主の皆様のご期待へお応えしてまいります。

中期経営計画「中計'21」の期間中(2021年~2025年)は年度毎の連結配当性向を30%以上の水準とすることを考えておりますが、当期純利益に含まれる非経常的かつ特殊な損益などを調整し、より当社の実力値に近い利益に連動させることで、安定的かつ業績との連動性を持った還元策を実現していきます。

この基本方針のもと、本日公表しました業績予想の修正を勘案した結果、2023年2月14日に公表しました前回予想から期末配当金について1株につき23円増配し、1株当たり58円00銭とすることといたしました。

なお、期末配当につきましては、2024年3月開催予定の定時株主総会において付議する予定であります。

詳細につきましては、本日公表しました「2023年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正、並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成していますので、実際の業績や配当額は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	41,601	42,218
受取手形及び売掛金	109,468	123,222
商品及び製品	78,315	78,912
仕掛品	5,091	5,868
原材料及び貯蔵品	29,477	26,105
その他	25,952	26,077
貸倒引当金	△328	△289
流動資産合計	289,579	302,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	81,501	88,699
機械装置及び運搬具(純額)	116,847	128,367
その他(純額)	66,702	62,202
有形固定資産合計	265,051	279,269
無形固定資産		
無形固定資産	8,529	11,132
投資その他の資産		
投資有価証券	27,204	33,049
その他	8,628	16,793
貸倒引当金	△102	△102
投資その他の資産合計	35,729	49,739
固定資産合計	309,310	340,141
資産合計	598,889	642,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,577	35,991
コマーシャル・ペーパー	43,000	50,500
短期借入金	24,780	16,694
未払金	31,225	31,056
未払法人税等	11,816	14,338
製品補償引当金	4,820	4,397
関係会社整理損失引当金	—	3,272
その他	32,827	37,415
流動負債合計	191,048	193,666
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	51,366	50,055
退職給付に係る負債	3,523	3,506
製品補償引当金	1,380	1,267
訴訟損失引当金	1,340	1,340
その他の引当金	97	92
その他	19,218	20,391
固定負債合計	86,926	86,653
負債合計	277,974	280,319
純資産の部		
株主資本		
資本金	55,935	55,935
資本剰余金	54,341	54,352
利益剰余金	159,837	181,262
自己株式	△132	△119
株主資本合計	269,981	291,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,743	16,824
繰延ヘッジ損益	58	△132
為替換算調整勘定	32,359	48,341
退職給付に係る調整累計額	5,541	5,362
その他の包括利益累計額合計	50,702	70,396
非支配株主持分	231	110
純資産合計	320,915	361,936
負債純資産合計	598,889	642,256

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	223,667	265,457
売上原価	127,714	167,325
売上総利益	95,952	98,131
販売費及び一般管理費	69,979	71,457
営業利益	25,972	26,673
営業外収益		
受取利息	198	353
受取配当金	689	559
為替差益	13,065	11,916
持分法による投資利益	67	—
その他	926	764
営業外収益合計	14,948	13,593
営業外費用		
支払利息	641	550
持分法による投資損失	—	11
その他	1,769	943
営業外費用合計	2,411	1,505
経常利益	38,509	38,761
特別利益		
投資有価証券売却益	4,503	759
関係会社株式売却益	32	—
特別利益合計	4,536	759
特別損失		
固定資産除却損	155	140
減損損失	214	1,290
関係会社整理損	—	3,631
製品補償対策費	230	135
訴訟損失引当金繰入額	1,294	—
新型コロナウイルス感染症による損失	28	—
特別損失合計	1,923	5,197
税金等調整前四半期純利益	41,121	34,322
法人税等	10,083	5,331
四半期純利益	31,037	28,990
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△132
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,030	29,122

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	31,037	28,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,583	4,081
繰延ヘッジ損益	△103	△190
為替換算調整勘定	29,616	15,865
退職給付に係る調整額	△148	△178
持分法適用会社に対する持分相当額	196	127
その他の包括利益合計	26,978	19,705
四半期包括利益	58,015	48,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,969	48,817
非支配株主に係る四半期包括利益	45	△121

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	41,121	34,322
減価償却費	11,408	14,463
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△93	△27
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	21
受取利息及び受取配当金	△888	△912
支払利息	641	550
為替差損益 (△は益)	△6,043	△6,826
持分法による投資損益 (△は益)	△67	11
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,503	△759
関係会社株式売却損益 (△は益)	△32	—
固定資産除却損	155	140
減損損失	214	1,290
製品補償対策費	230	135
訴訟損失引当金繰入額	1,294	—
関係会社整理損	—	3,631
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,689	△5,303
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△18,723	9,587
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,968	△7,319
その他	△6,506	△911
<b>小計</b>	<b>9,549</b>	<b>42,096</b>
利息及び配当金の受取額	862	909
利息の支払額	△661	△487
製品補償関連支払額	△1,742	△596
法人税等の支払額	△10,433	△14,499
法人税等の還付額	122	76
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,303</b>	<b>27,499</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,049	△11,821
有形固定資産の売却による収入	4,530	7
無形固定資産の取得による支出	△1,369	△3,450
投資有価証券の取得による支出	△9	△6
投資有価証券の売却及び償還による収入	6,677	9
関係会社株式の売却による収入	86	—
その他	1,938	△150
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△11,195</b>	<b>△15,410</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,131	1,370
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	19,000	7,500
長期借入金の返済による支出	△6,153	△12,459
リース債務の返済による支出	△728	△1,995
配当金の支払額	△8,612	△7,689
その他	22	23
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,659</b>	<b>△13,249</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,607	1,778
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,232	616
現金及び現金同等物の期首残高	53,592	41,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,360	42,217

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

## (セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	203,936	19,721	223,658	8	223,667	—	223,667
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	22	22	△22	—
計	203,936	19,721	223,658	31	223,689	△22	223,667
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	27,332	△1,354	25,978	△2	25,976	△3	25,972

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	タイヤ事業	自動車 部品事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	242,523	22,925	265,448	9	265,457	—	265,457
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	9	9	△9	—
計	242,523	22,925	265,448	18	265,466	△9	265,457
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	27,400	△728	26,672	1	26,673	0	26,673

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内関係会社に対する融資及び債権の買取、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、前第2四半期連結累計期間△3百万円、当第2四半期連結累計期間0百万円であり、セグメント間取引取消等が含まれております。